

## 第4回北海道開発局低頻度大水害ハザードマップ検討会 議事概要

日 時：平成 25 年 3 月 11 日（月）10:00～11:30

出席者： 座長：清水委員（北海道大学）

委員：伊藤委員（寒地土木研究所）

中津川委員（室蘭工業大学）

渡辺委員（江別市役所：（代理：表様））

※阿部委員（むかわ町役場：欠席）

事務局：北海道開発局河川計画課：原課長、小林河川調整推進官

### ○議事 2. 低頻度大水害ハザードマップ（事務局案）について

#### ◆中津川委員

- ・避難勧告のタイミングが江別市（破堤 2 時間前）とむかわ町（破堤 7 時間前）で、かなり異なるが現実的に 7 時間前に予測できるのか。

#### ■事務局

- ・避難勧告のタイミングは石狩川の方が標準的と思われるが、洪水予測では水位上昇が予測されていることから、むかわ町の意向もあり早目の避難勧告を設定した。物事を早目に考えるという意味では望ましいが、委員の指摘を踏まえて、むかわ町と再調整を行う。

#### ◆中津川委員

- ・千歳川右岸破堤のケースでは近隣に避難所が無く川を越えた遠距離避難となっているが現実的に可能なのか。

#### ■事務局

- ・シナリオ上かなり厳しい設定になっているが、逃げ遅れた場合の緊急措置として垂直避難を盛り込んでいる。また、今後、道央自動車道への避難等も検討していく必要がある。

#### ◆中津川委員

- ・具体的に市町村で低頻度大水害ハザードマップを作る場合は別の会合があると考えて良いか。

#### ■事務局

- ・この会は低頻度大水害ハザードマップの事務局案まで検討する。市町村作成時には住民意見等加える必要があるため、新たな枠組みが必要と思われる。

#### ◆清水座長

- ・想定する降雨や破堤箇所が異なると、被害の拡大等が全く異なる結果となるのか。

#### ■事務局

- ・江別市については低平地なので最終的に面積はあまり変わらないが、むかわ町については流下型なので破堤地点によって浸水面積は変わる。

◆清水座長

- ・複数のパターンを想定する場合、どのようなものになるのか。

■事務局

- ・検討会で示している部分は一部だが、実際の作成時には他の氾濫ブロック等を計算したものを市町村に渡す予定。

○議事3. 低頻度大水害ハザードマップ作成の手引き（案）について

○議事4. 中小河川ハザードマップ作成の手引き（案）について

◆伊藤委員

- ・中小河川の多くは水防警報の発表基準も整備されておらず、避難をどのような基準に基づいて発令するかが難しい。どういうデータや情報に基づいて避難判断・勧告をするかのルールが必要ではないか。

■事務局

- ・すべての河川でルール作りができるわけではないので、中小河川ハザードマップ作成の手引き等により事前に計算し、実際の状況とあわせて早目に避難勧告を出せる事前準備として考えてほしい。

◆中津川委員

- ・前回にも議論があったが、既存のハザードマップと低頻度大水害のハザードマップの重複をある程度仕分けする基準が必要ではないか。

■事務局

- ・既存のハザードマップは計画規模の降雨時に想定される浸水や避難のあり方を示すものである。低頻度大水害はそれを超える想定の実地からの成り立っており、また、結果として既存のハザードマップのチェック・補足として有効利用できる。

◆清水座長

- ・低頻度大水害と中小河川の二段構えで資料が出てきたが、中小河川は市町村の防災担当者が作成する場合で、低頻度大水害は誰が作成する場合のものか。

■事務局

- ・前提として浸水想定区域図は国及び都道府県が提供し、避難所指定等はそれを踏まえて市町村が実施する。今回の低頻度大水害ハザードマップの手引きはそれらに特記すべき事項のみ記載している。

◆清水座長

- ・低頻度大水害と中小河川をそれぞれ別の担当が作成するような誤解を与えないか。

■事務局

- ・浸水想定区域図のマニュアルは河川管理者向け、既存のハザードマップ作成の手引きは市町村向け、と分けて作っているが、今回の二つについては低頻度大水害を作成するにあたり中小河川を考慮すべきという意見からまとめて出しているため、似た名前で混乱を招きやすいが、扱いは違うものと考えている。

◆清水座長

- ・実際の計算時に i R I C とエクセルを交互に操作する必要があり煩雑である。一つのソフトである程度運用できるようにしたほうが良いのではないか。
- ・道庁等の中小河川を管理する機関とのタイアップや、市町村防災担当者の運用テストによる改良部のくみ上げ・質問受付・講習会などのバックアップ体制を整えるべき。

◆渡辺委員（代理）

- ・これから住民の方々に、水害に係る訓練等の場で、ご説明して周知していく。今後の防災訓練や地域防災計画にもこういった形を反映できればと思う。
- ・今後手引きの作成についても、開発局にご支援頂ければありがたいと思う。

■事務局

- ・各地で講習会を行うとともに意見を反映して改良していきたい。